

## 議事録

1. 件名：「令和5年度制振装置の試験」に係る打合せ(第2回)
2. 日時：令和5年9月28日(木) 13:30～15:15
3. 場所：原子力規制庁 13階会議室
4. 出席者：原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
日比野総括技術研究調査官、田岡主任技術研究調査官、川内技術計画専門職、  
石田技術参与、高松技術参与  
  
東芝エネルギーシステムズ株式会社  
原子力プラント設計部 エキスパート 他1名  
原子力技術部 シニアエキスパート
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、既設プラントに新たに導入された設備の耐震性を把握するための安全研究を令和3年度から令和6年度にかけて計画し、実施している。  
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和5年度制振装置の試験」事業を実施している。  
今回は、当事業に係る第2回打合せを実施した。内容は下記のとおり。
  - ① 東芝エネルギーシステムズ株式会社より、当事業の制振装置の試験に係る要領書、及び制振装置を対象にした解析に関する文献調査の方針について説明があった。
  - ② 要領書を基に、試験体の仕様、試験条件、計測項目、評価項目を確認した。
  - ③ 文献調査について、調査対象を確認した。
  - ④ 今回の打ち合わせを踏まえて、当事業に対する学識経験者の意見を頂戴する技術検討会を開催することとし、東芝エネルギーシステムズ株式会社にて、技術検討会の日程を調整することとなった。
6. その他  
特になし